



佐藤 稔 議員

### 保育士の「業務負荷軽減策」について

**問** 保育士の多種多様な日常業務の負担を、タブレットやスマホ等を活用し軽減することで、「保育の質の向上」を図ることができる。他自治体では「コドモン」などのICTツールを活用し、一定の効果を上げていることから、このツールの導入を提案するが市の考えを伺う。

**答（健康福祉部長）** ICT化は保育士の事務負担の軽減や働く

環境の改善、働き方改革へつながるものと期待でき、保育士の確保、保育の質の向上にも資すると考えている。ICTを導入している他自治体の保育施設等を参考に、前向きに検討する。

### 「マイタイムラインリーダー認定制度」について

**問** 災害時の逃げ遅れゼロを目指し「マイタイムライン」の積極的な作成は極めて重要である。「マイタイムライン」を作成するための講座の開催と、講座を担当するリーダーの養成が重要と考えるが市の考えを伺う。

**答（生活安全部長）** マイタイムライン普及の取り組みとして、防災出前講座等の中で、各団体の希望によりマイタイムライン

講座を6団体、147名に実施した。また、普及や推進活動ができる人材の育成を目的に、独自のマイタイムラインリーダー認定制度を設け、市内で6名が認定を受けている。認定制度を活用し、市内のリーダー養成を図るため引き続き認定講習会の周知に努めていきたい。



古河版マイタイムライン

### 《その他の質問》

・幼児教育無償化に伴う全国調査結果について



小山 高正 議員

### 環境対策におけるSDGsの実践状況と今後の見通しについて

**問** ①教育分野での温暖化対策も含めた環境啓発活動はどんなことをしているのか②庁舎内ではどんな対策をしているのか③ノーマイカーデーの再開を提案するがいかかがか。

**答（市長）** ③ノーマイカーデーは、市が先導する姿が大切であり、継続的な取り組みも重要と考えているので、実施を再開していきたい。

**答（教育長）** ①環境保全のための取り組みとして、ゴーヤにおける緑のカーテン、節電および節水などを行い、今後については、出前講座の計画を予定している。

**答（生活安全部長）** ②日常業務でのクールビズなどによる冷暖房の適正な温度設定、昼休みの消灯など実施中である。

### 特定空き家等の対策について

**問** ①特定空き家と認められた場合の条例運用について②やむを得ず、行政代執行を行う場合の費用回収は順調に行えるのか③空き家発生抑制に、成年後見制度や財産管理委任契約等の活用を提案するがいかかがか。

**答（生活安全部長）** ①国の空家等対策の推進に関する特別措置法第14条に基づき、当該家屋の撤去に関する助言、指導を行う。②実際には、費用を請求しても支払いをしていただけないことも想定されるので、特定空き家の認定を受ける前までの対策が必要ではないかと考えている。③国の活用可能な制度などを情報収集することで、実務の中で生かせるようにしていきたい。

